

稲作情報



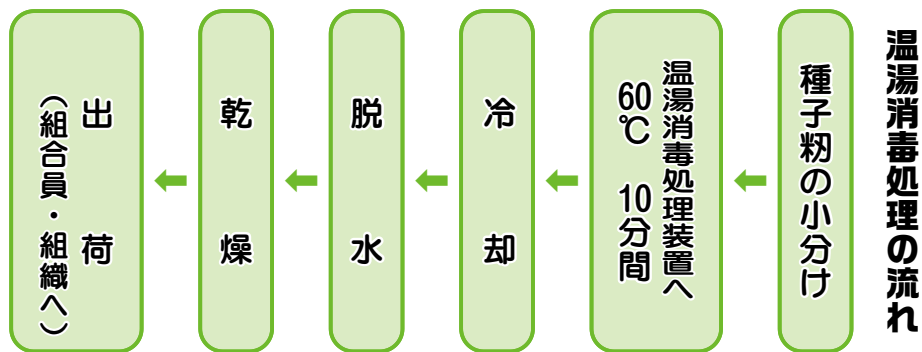
高品質・良食味が基本のトップブランド「魚沼産コシヒカリ」として、品質のさらなる向上と安定が求められています。

生育に合わせた施肥や水管理等の基本技術を徹底し、「魚沼産コシヒカリ」として品質向上に努めましょう。

コシヒカリの田植は、5月10日以降に行うよう計画を立て、そこから育苗作業開始時期を逆算し行いましょう。

種子消毒

JAでは、より一層の安全・安心な栽培に向けた取組みとして、種子全量を温湯消毒処理後に配布いたします。温湯消毒とは、種子を60℃の温湯に10分間つけることで、ばか苗病・いもち病・粃枯れ細菌病等を防除する方法です。農薬を使用しないクリーンで環境にやさしい消毒方法です。消毒後の種子は、3月中旬より配達いたします。



温湯消毒種子の取扱注意

一、雑菌・発芽障害等が発生しないよう風通しの良いところで保管してください。

(ビニールなどでの密封は厳禁)

また、ネズミ等の被害防止の管理も徹底してください。

消毒効果は、1カ月間が目安となりますので、遅れないように浸種作業を行ってください。

塩水選作業は行わず、配布されたアミ袋のまま浸種作業を行ってください。

二、粃枯れ細菌病等に対しては、タフブロックの催芽時処理を必ず行いましょう。

三、2品種以上申込されている方は、品種ごとに配達日が異なります。

アミ袋には、品種名などが記入された証明書が入っています。万が一、

事故等が発生した場合は、追跡調査に必要な書類となりますので、大切に保管してください。

四、品種とアミ袋は左表の通りです。

品 種	袋 色
コシヒカリ	黄
こしいぶき	赤
こがねもち	緑

稲作 情報



個人育苗研修会のお知らせ

J Aでは下記により水稻の個人育苗研修会を開催します。
基本技術を確認し、健苗育成を行いましょ。

3月18日 (木)

14:00より 総合営農経済センター

3月18日 (木)

18:00より 総合営農経済センター

浸種

発芽揃いを良好にするため浸種水温に注意しましょう。水温は12度を保つように工夫し、特に浸種初期は絶対に10度未満にならないように注意しましょう。水量は籾容量の2倍程度とします。(籾1kgあたり約3・

5ℓ)

水は毎日こまめに交換してください(酸欠を防ぐため)。積算温度120℃を目安に充分行いましょう。

土づくり

- ・ **ケイ酸**を含む土づくり資材や、堆肥を施用しましょう。
- ・ 下層土から水とケイ酸を吸収しやすくするため**耕深15cm**を確保しましょう。

初期生育促進と良質茎確保

- ・ **稚苗は20日間程度の育苗日数**となるよう、田植え時期に合わせた適期播種を行いましょ。
- ・ コシヒカリは平坦部で平温年の出穂期が8月5日以降となるよう播種を行いましょ。

病虫害対策

- ・ 育苗箱施用によるいもち病、害虫防除の徹底